

広報 ふじかわ

5 月 号

昭和50年 5 月10日発行

No. 173

町 の メ モ

昭和50年 4 月 1 日現在

人 口	16,318人
増 減	+ 10人
男	8,067人
女	8,246人
世帯数	3,889世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 企画課



野田山はもうすぐだよ！

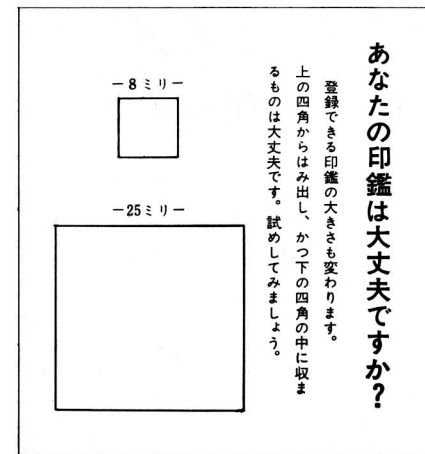
好天に恵まれた町民ハイキング

春の一日を家族そろってふるさとの野山を歩こうシリーズ第六回目の四月二十日は、好天の中、町民約三百人が参加して、野田山ハイキングコースで行なわれました。

当日の八時二十分には、ハイキング用の服装にズック靴、手にはお弁当や水筒を持った町民が、すでに第一小学校グラウンドに集合。列をつくって野田山実相院へ出発。

第二出発点の野田山実相院で小休止したあと、比較的険しい山道をおじいさんの手に引かれて一生懸命登るお孫さん。ギターを片手にツツカケで登る若者ワラビ、ゼンマイなどの山菜を摘みながら登る主婦たちは、新鮮な若葉の緑の中を小鳥のさえずりを聞き、ところどころで見渡せる広大な富士の裾野、青く澄んでいる駿河の海を眺めながら、気分も壮快のうちに十時三十分ごろ目的地の野田山に到着しました。さっそく、家族や仲間同志でおいしい昼食をとったあと、青年団員の指導によるゲーム・コーラス・フォークダンスなど、春の一日を大自然の中で楽しんでいました。

十分楽しんだ午後一時には、野田山をあとにして帰途につきました。





全国いつせい春の交通安全運動が、五月十二日から二十一日までの十日間行なわれます。

とくに静岡県では、昨年のV5県民運動に続いて、交通事故死者大幅減少を目指す新V5県民運動を今年のスローガンに、子どもと老人、自転車の事故防止、暴走運転の追放運動を掲げて展開します。

昨年の郡内の交通事故総件数は三百十九件、死者七人です。これは、一昨年の事故件数三百六十四件、死者十六人に比べると件数、死者とも大幅に減少しています。

しかし、七人の死者の中で五人までが当町管内で発生。しかも、

このうち県道富士川富沢線で三人と、相変わらず同道が多く家族の悲しみは大きなものがあります。

また、時間的には朝夕のラッシュ時に多く発生していますので、ゆとりのある安全運転で走行してください。

なお、今年の三月三十一日までの交通事故では、郡内で総事故件数七十件、死者三人。町内では二十五件で一人が亡くなっています。

とび出すな

あ、この道この道交差点

新学期は、新しい道路や学校、幼稚園などの生活に慣れない子ども

も交通事故が毎年多く発生しています。また、依然として老人や自転車の事故も多く、お母さんがたをはじめ運転手の皆さんも次のことに十分注意して、恐しい事故を引き起こさないよう子どもの指導や安全運転に努めましょう。

▼横断歩道や信号機のある交差点が近くにあるところでは、必ずその横断歩道や交差点を利用させるようにする。また、これらの施設がないところでは、左右の見通しのきくところで、車の流れのときと渡るときを選んで、真つすぐささと渡るようにさせる。

▼横断する前は、必ず立ち止まっ

てまず右を見、次いで左を見、さらに一度右を見て安全を確認させる。いきなり道路にとび出したり、車のすぐ前や後を横切ったりさせないようにする。

▼車が通る道路を横断するときは手をあげて合図をし、車が止まったのを確かめてから横断させる。

▼歩行者用の信号の青が点滅しているときは、黄信号と同じ意味なので、青の点滅になったら横断をはじめないようにさせる。

▼学校や幼稚園への持ち物は、前の日にしっかりと準備しておく。忘れものを取りに帰ったり、出がけにあわてて用意したりする焦りが事故の原因になります。子どもの持ち物や服装はできるだけ身軽で活動しやすいものにする。両手に物を持ちたり重い荷物をさげていると、とっさの動作がとれなく事故の危険性が大きくなりますので注意させる。

運転者の注意事項

▼子どもが一人で歩いているときや、白や黄のつえを持った人が歩いているときは、必ず一時停止するか、一歩以上の間隔をとって徐行し、これらの人たちが安全に通れるようにする。

▼学校、幼稚園の近くや、通学路の標識のあるところは、子どもが突然とび出してくることがあるので、とくに注意して運転する。

心配ごととは気軽に
総合相談所を
ご利用ください

・5月20日(火)9時30分～3時
・老人福祉センター

ことしの目標
“ものを大切にしましょう。”
〔今月のテーマ〕
◎紙を大切に

広告など紙を捨てる前にもう一度、子どもの勉強のメモ用紙などに使えないか確かめましょう。

死者撲滅をスローガンに 5月12日～21日 春の交通安全運動実施

【区長会役員】 (敬称略)

会長 若月 忠雄 (新町)

副会長 望月 貞彦 (坂下)

理事 田中金二郎 (大北町)

角替肇 (木島) 望月保 (旭町) 若月長作 (川坂) 佐野安男 (本通二) 小林松雄 (南町二)

深沢次作 (儘下町)

【新区長】

木島 角替肇 小山 井上又一 室野 望月賢一 相生町 小林正衛 上町 天野忠雄 舟山町 望

い各区の区長さんは次の人たちです。

また、新しい各区の区長さんは次の人たちです。

健康な身体で生活を
松野の婦人
自主的に体操

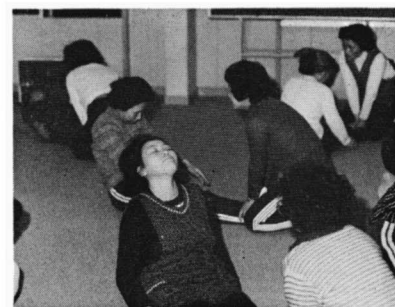
と、かく運動不足になりがちで常、みんなで楽しみながら身体を動かして健康増進を図ろう」と松野地区の婦人会員(天野あや子代表)は、昨年七月から週一・二回、各区の集会所で健康体操を実施。おかげで肩こりや便秘が直ったなど、大きな効果をあげています。

この健康体操は、昨年五月に竹越美代子先生の健康体操の講習を受けた同地区婦人会員の発案で、七月から北松野公民館、老人会などの家など数カ所で行われていた。

婦人会は、五十年総会を四月二十九日、第一小学校体育館で開き、新しい役員を次のように決めました。

(敬称略)

会長 望月 八代 (舟山町)



婦人会長に
望月八代さん留任

副会長 西森千鶴江 (八幡町)

深沢千代子 (新町四十九)

会 計 西森千鶴江 (八幡町)

庶 務 根上 純子 (相生町)

社会部 小林 正子 (幸町)

生活部 若月ゆき江 (宮町) 佐野さよ子 (富士見町) 花田よしの (舟山町)

文化部 小川慶子 (儘下町) 青川しげ子 (旭町)

厚生部 遠藤友子 (東町二) 天野みさを (大北町)

会計監査 白井滋賀子 (清水町) 植松美江 (相生町)

青年団長に 遠藤光広くん

五十年連合青年団総会では、四月十日、老人福祉センターで行なわれ、新役員、新年度事業などを決めました。

今年は、昨年に引続いてリーダーとは何かをみんなで考え、真のリーダーづくりを活動方針にしてスタートしています。なお、新役員は次のとおりです。(敬称略)

団 長 遠藤 光広 (清水町)

副団長 本伏政雄 (富士見町) 小池満夫 (八幡町) 吉田妙子 (大北町)

事務局 望月 亘 (舟山町)

体育部長 清水 正美 (南町)

社会文化部長 宇佐美章夫 (大北町)

家政部長 望月 美朱 (東町二)

区長会長に若月忠雄氏

新年度区長さんも決まる

住民と行政のパイプ役として大変な仕事をしてくださる、昭和五十年新度区長さんの第一回区長会が四月四日役場議場で開かれまし

席上、会長に若月忠雄氏を選出するなど、新役員を決めました。

また、新しい各区の区長さんは次の人たちです。

月一郎 坂下 望月貞彦 旭町 望月保 堺町 小永井由太郎 川坂 若月長作 新町 若月忠雄 新町四十九 深沢玄誠 宮町 増井兼吉 小池 蓮池幸夫 本通 一 佐野安男 本通三 奥村院英 本通四 土屋真砂 幸町 山田武二 東町一 磯部真吉 東町二 古木邦年 日の出町 田辺隆夫 南町一 影島好孝 南町二 小林松雄 富士見町 望月清一 かぎあな 望月徳雄 八幡町 望月義郎 清水町 小池隆雄 大北町 田中金二郎 儘下町 深沢次作 富士松野 小林益雄

健康な身体で生活を 松野の婦人 自主的に体操

自主的に体操

参加者は、二十代の主婦から四十代、五十代のお母さんと色々と常に二十人以上集まり、順序を吹き込んだテープをもとに、役員が中心になって楽しみながら行なっていました。

健康にはもちろん、肩こりや便秘から、ヘルニア、太り過ぎ、果ては、胃下垂の人まで回を重ねるごとに直ったという人もあって、今では体操をしない日は気分が悪いと訴えている人もあり、大きな効果をあげています。

一生懸命健康体操をする婦人

県民だよりを廃止

かわりに新聞紙面を

毎月静岡県が各家庭に発行していた県民だよりは、今年の五月から新聞紙面を利用した広報に切り替えることになりました。掲載日は、朝日、毎日、中日、サンケイ、静岡の各新聞が毎月第一月曜日の朝刊。読売新聞はその翌日の朝刊になっています。

事業所統計調査に ご協力ください

五月十五日から全国いつせいに事業所統計調査が実施されます。この調査は、三年ごとに国が行なう統計調査で会社、工場、店舗、営業所、学校、病院、寺院など、あらゆる種類のすべての事業所を対象に経営組織、事業の内容、従業員数などについて調べるものです。

調査員が直接あなたの事業所を訪問しますので、ご協力ください。詳しくはお問い合わせください。

お、調査した結果は統計をつくる目的だけに用いられ、税金関係など申告者の不利益になるようなことは絶対にありません。

●納税メモ

自動車税の納期は、年一回です。五月十六日から五月三十一日までの納期内に納めましょう。

第四火曜日を 魚の安い日に指定

県東部魚商組合連合会に加入している町内の魚店が、毎月一回第四火曜日を魚の特売日に定め、平日の一日から三割くらい安値で販売します。

また、このうち二、三品を特別大安売りにします。

販売日当日は、各店頭で「魚の特売日」と書いた赤いのぼりを立て、一般消費者に知らせることにしています。

戸籍の窓

50・3・20～4・19 (敬称略)

おめでた

区名	出生児	保護者続柄
小山	加藤 弥生	勝行 長女
相生町	濱村千恵子	昇 〃
舟山町	花田 和美	偉男 三女
坂下	後藤 直美	久雄 〃
旭町	久保田三由起行雄	長女
〃	望月佐季子	君平 二女
川坂	箕 慎一郎	憲一 長男
〃	大石 和良	利征 二男

郷土の偉人

故大村西崖氏の胸像

役場入口に復元

当時の生んだ世界的な東洋美術史家であり、また文人画家でもあった故大村西崖氏の胸像が役場入口に復元し、その除幕式が四月三日、大村家親戚、中川町長ら関係者約六十人の出席のもと、現地で厳かに行なわれました。

同氏は富士市に生まれ、当時の大村桂蔵家に養子として育てられ二十二歳のとき東京美術学校(現芸大)に進学、明治二十八年京都美術工芸学校の教諭となって学生

よろこび

区名	新 郎	新 婦	旧 姓
木島	角 替 正喜	里 枝	大石
四十九	花田 美樹	好 廣	長女
〃	渡辺 光洋	光 章	長男
宮町	箕 麻理子	省 一	長女
〃	神尾 有紀	史 則	〃
本通四	宇佐美なおみ	多加夫二	二女
幸町	西田 芳徳	徳次郎二	二男
〃	依田 晶子	行 夫	長女
東町一	井出 尚美	和 雄	〃
南町	川崎純之助	育之助	二男
〃	田辺 裕章	輝 眞	長男
大北町	風岡 孝直	博	二男
儘下町	栗原 洋子	秀 順	二女

おしあわせに

区名	氏 名	年 齢
相生町	飯島 康男	美津子遠藤
新町	渡辺 和一	美代子植松
四十九	紫田文比古	早苗 鈴木
宮町	寺下 孝男	惠美子望月
〃	佐野 勝彦	美代子佐野
〃	浦田 善弘	美津子牧田
小池	江口 明	久江 橋本
本通三	奥村 友敏	政子 島村
本通四	森山政美	加代子久保田
幸町	高橋 恒夫	文代 望月
〃	弓取 孝行	由美子後藤
東町二	飯田 次郎	さき子杉山
富士見町	望月和吉	順子 飯田
清水町	白井 滋 節子	石 脇

かなしみ

区名	氏名	転出先
上町	小沢 美恵	由比町
新町	池内百合子	富士市
南町	田中三千代	千葉県
儘下町	望月 宣子	富士宮市

かなしみ

区名	氏名	年齢
上町	望月 福雄	六三
舟山町	丸山 とも	七九
坂下	斉藤 正江	四三
旭町	森 ふじ江	五三
四十九	内野 いよ	六五
本通一	太田 みせ	九二
清水町	宇佐美丈作	七九
大北町	宇佐美いま	八一

の教訓にあたりました。この間、平安神宮の金漆獅子や北野天満宮の神馬などを製作。後に母校の芸大の教授となり、昭和二年に六十歳でなくなりました。

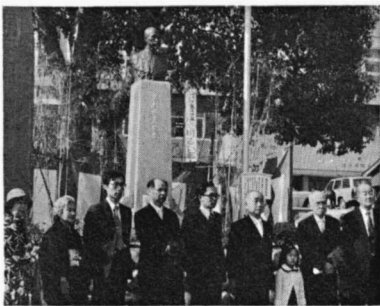
始め彫塑の技を学んでいた同氏は、後に美術史の研究に献身し、編集刊行した書は、森岡外博士との共著「審美綱要」を始めとして「東洋美術大観」など数多く、さらに密教の研究に志し「密教発達志」で帝国学士院賞を受けています。また、故郷の当町にも数多くの作品を残しています。大正十三年天皇陛下の御成婚を祝して画き上げた新豊院所蔵百八十反の聖観世音菩薩立像、布地に描いたもの

では日本一と言われているものや光栄寺本堂格天井に躍動する雲龍の遺作などがあります。

芸大では、同氏の胸像を弟子でもある彫刻家の朝倉文夫氏が製作し一軀を一周忌に当たる昭和三年に校庭へ建立。また、これと同型の一軀を大村家に寄贈したものを第一小学校の校庭に移されていますが、太平洋戦争前、軍需資材として供出され台座だけが空しく役場入口に残っていました。

このたびの復元は、同氏のような偉大な人物をしのび、若い世代の人たちが先生を指針として奮奮努力、それに続こうとすることを念願して当町が、芸大の朝倉彫塑

館の承諾を得て、同館に保存されている原型から鋳造し、台座に据えつけ役場入口に建立したものです。



大村西崖氏の胸像の前に立つ
大村家家族と中川町長

富士川短歌会

四月の詠草 (天野 寛選)

本通一 長橋 安子

百人一首に名のみ知りたるやえむぐらけふ教はりぬ蜜柑木の下に

本通一 斉藤とし子

入学の子とゆく道に散るさくら小さき渦を描きつつ舞う

旭町 飯野よし子

五十年のつとめ終りし夫と来て芝川の野に富士をみて佇つ

宮町 浦田 次子

笹竹に豌豆の蔓からまりて蝶に似し花今盛りなり

宮町 荻野 敏音

つやめき立つサング樹の下にうなかぶす馬酔木の花は重なりて咲く

宮町 山田たか子

ひとにぎり摘み来しわらび飯に炊けば小食の姑盛り替えをこう

木島 角替千鶴子

吸いさしの煙草積りて難かしき客の話に夜は更け行く

小池 佐藤 ちよ

坂道をひた走り来てゆくりなく崖下に雉のとび立つを見つ

宮町 池田 てい

妹の入院せし間を預かりし姪の実生子はわが背にねる

旭町 吉田 令子

春あらしうつに聞きて眠りしが目覚めし床にうぐいすのこえ